

平成 23 年 10 月 24 日

平成 22 年度 大学院授業評価アンケート結果の総括

福山大学 自己評価委員会
委員長 小野 行雄
部会長 山本 覚

平成 22 年 12 月に、大学院生を対象に、大学院の教育・研究等に関するアンケート調査を実施した。本学における大学院教育の点検の資料として、アンケート集計結果を総括した。

実施期間：平成 22 年 12 月上旬

調査対象：本学大学院在籍学生全員

設問項目：平成 21 年度に実施した大学院授業評価アンケートに準じた。ただし、設問 1 については、回答項目に「専門分野の知識を深めたいから」を加え、主たる目的と準ずる目的の複数回答をお願いした。

集計結果のフィードバック：

集計結果は自己評価委員会大学院部門で集計し、平成 23 年 2 月に研究科毎に学生へのフィードバックを実施した。その結果は、福山大学ホームページに掲載する予定である。

自己評価委員会による総括

大学院入学の目的について（質問 1）

大学院入学の目的に関する調査では、「研究を深めたい」または「専門分野の知識を深めたい」という主目的で入学した学生が約 70% であった。経済学研究科では、「専門分野の知識を深めたい」と「資格を取得したい」を目的とする学生の割合が約 80% で、人間科学研究科では約 60% と工学研究科と薬学研究科の約 14% に比べて非常に高いことがわかった。「就職に有利である」と考えている学生の割合は全体の 12% で、資格を取得したいと考えている学生は 16% であった。工学研究科と薬学研究科の学生は研究や専門分野の知識を深めるために入学し、経済学研究科と人間科学研究科はそれに加えて、資格を取得するために入学していることが明らかとなった。これらの結果は、大学院入学の目的に対する意識が文系と理系の学生で異なることを示している。

大学院の授業について（質問 2～質問 7）

研究科の授業科目のシラバスの構成（質問 2）と内容（質問 3）については、それぞれ 80%、および 75% の学生が「強くそう思う」または「だいたいそう思う」と回答しており、学生が期待する授業であると判断される。しかしながら、全ての学生の期待に応えること

は難しいものの、「あまり思わない」または「まったくそう思わない」とする学生が4～7%いることもわかった。授業回数(質問4)や授業時間(質問5)については、それぞれ92%と95%の学生が規則通りに実施されていると評価している。また、授業内容のレベル(質問6)と授業方法(質問7)については、それぞれ75%と80%の学生が満足していることが明らかとなった。

研究指導ならびに研究状況について(質問8～質問12)

研究テーマの決定(質問8)については、88%の学生が適切であると判断している。指導教員の熱意(質問9)と指導の適切さ(質問10)については、いずれも約85%の学生が満足している。研究の進捗状況(質問11)については、34%の学生が「順調に進んでいる」と回答し、47%の学生が「どちらとも言えない」と回答している。これらの結果は、全学生の総計であるが、学年毎に検討すると、M1よりM2の方が「順調に進んでいる」という回答は多く、「どちらとも言えない」という回答はM1に多かった。この結果は、M1が研究の途上であり、M2が論文作成の直前の時期にアンケートを実施したことを考えれば妥当な結果であろう。問題発見能力向上(質問12)については、60%の学生が大学院で学ぶことにより向上したと感じている。思わない学生は約7%であり、ほとんどの学生が大学院進学で資質の向上を実感していると考えられる。

研究環境について(質問13～質問18)

研究に必要な施設や設備(質問13)については、71%の学生が整備されていると回答している一方で、15%の学生が不十分であると考えている。これは研究テーマにより施設・設備の遅れている面があると考えざるを得ず、改善すべき今後の課題である。図書館の蔵書(質問14)及び利用しやすさ(質問15)については、それぞれ満足している学生の割合が45%と48%であり、満足していない学生が半数以上いることを考えれば、今後の改善が強く求められる。大学院生の経済環境については、奨学金等(質問16)や大学による支援(質問17)については、それぞれ64%と42%の学生が十分と考えているが、10～20%の学生は十分ではないと考えている。ティーチングアシスタント制度については、約90%の学生が自分にプラスになっていると考えてあり、この制度が十分に機能していることを示している。

その他(質問19・質問20)

研究室での日常生活や人間関係において、苦労を感じていないという回答62%、感じているという回答が18%であった。苦労を感じている学生の割合は低いとは言えないことから、相談窓口などを充実して対応して行く必要がある。また、大学院での教育・研究に対する総合的な満足(質問20)では77%が満足していると回答している。しかしながら、そう思わないと評価する回答が約7%程度存在している。また、自由記述欄には、様々な要望が記載されているが、これらについては個別に検討し、学生の要望に応える改善をして行く必要がある。

平成 22 年度大学院授業評価アンケート　自由記述回答一覧

<授業内容に関する回答>

- ・相続税法の講義がないので、開講してほしい
- ・自己啓発になる講義を設けてほしい
- ・FP のスペシャリストの養成と書かれていたのに FP の授業が 1 つもない

<パソコン環境に対する回答>

- ・パソコンが 5 台しかないので、増やしてほしい
- ・解析ソフト SPSS や AWOS を個人のパソコンに入れられるようにしてほしい
- ・パソコンの不具合が多すぎる

<施設に関する回答>

- ・院生の駐車場を広くしてほしい
- ・院生の駐車場に学部生が駐車して困るので、注意してほしい 5 件
- ・院生室が狭い
- ・一人一台の机がほしい

<経済的支援に関する回答>

- ・経済的支援がもっとあれば、留学生も進学できるようになるのと思う
- ・院生ではアルバイトが十分に出来ないので経済的負担が大きい
- ・学会に参加する交通費などの経済的支援をしてもらいたい
- ・外部から入学した学生にも奨学金がもらえるようにしてほしい

<指導教員の資質に関する回答>

- ・気分と日時によって言うことが大きく変わるために、困惑することがしばしばある
- ・教員が自分の意見を隠しながら、学生の意見に対して否定を重ね、建設的な議論にならない
- ・指導教員は理不尽なことしか言わない
- ・教師としてよりも人間として尊敬できない

<図書館に関する回答>

- ・図書館の図書の貸し出しが 1 ヶ月なので、もう少し長くしてほしい
- ・図書館の担当者の態度や対応が悪い
- ・図書の利用について貸し出しや閲覧手続きで研究に協力してほしい
- ・貸し出し期間が短くても貸し出しの出来ない理由を教えてほしい
- ・図書館で他大学に文献を請求すればとどくが時間がかかるので、種類を増やしてほしい
- ・図書館の対応はよくなってきたていると思う
- ・図書館に購入依頼した書籍が配架されるまでに時間がかかる
- ・図書館に文献複写を依頼したとき、それがどのような状況であるのか分かるようにしてほしい
- ・文献が全く整っていない

<因島キャンパスに関する回答>

- ・因島からのバスが1便しかなくて不便
- ・因島に図書室分室を設けてほしい
- ・因島の研究室を24時間開放できるようなシステムを望む

以上